

歯科の感染対策を考える シンポジウム

—より安全・安心な医療を目指して—

幼少期に受けた予防接種の際の、
注射器の連続使用により、多くの方がB型肝炎に感染しました。
被害者数は40万人を超えるとされます。

原告団は、被害者の歯科への思いや、鹿児島大学歯学部で
実践されている患者講義についてご報告します。

医科と歯科の先生方から、肝炎ウイルスの感染予防対策について、お話しいただきます。
歯科の感染対策の現状と、患者が望む感染対策について、是非一緒に考えましょう。

【日時】

11月20日[土]

14時00分～17時10分

【会場】

ZOOM(ウェビナー)中継

第1部 (午後2時00分～3時30分)

①基調報告(30分) **B型肝炎感染被害と歯科への思い**

全国B型肝炎訴訟原告団代表 田中 義信氏

鹿児島大学歯学部患者講義の報告

全国B型肝炎訴訟 鹿児島県原告団 宝蔵もと子氏

②基調講演(60分) **肝炎ウイルスの感染対策について**

久留米大学 消化器内科 井出 達也教授

歯科の感染予防について

鹿児島大学 口腔顎顔面外科 比地岡 浩志講師

第2部 (午後3時40分～5時10分)

パネルディスカッション(90分)

■東京歯科保険医協会理事 濱崎啓吾氏

■井出教授 ■比地岡講師 ■田中代表

ZOOMのURLは

鹿児島県弁護士HPにて公開されます。

<https://www.bkankagoshima.com/2021/09/28/677/>



問い合わせ

全国B型肝炎訴訟弁護士 武藤糾明
〒819-0002 福岡県福岡市西区姪の浜4丁目8-2-3F
TEL. 092-894-1781

主催：全国B型肝炎訴訟原告団・弁護士